

## 【概要】

1. 新規採用薬 : バベンチオ点滴静注 / ロケルマ懸濁用散分包 / エクセラーゼ配合錠
2. 供給状況 : バルプロ酸ナトリウム徐放錠 / ランソプラゾール OD 錠 / アブラキサン点滴静注用  
クエチアピン錠 / リスペリドン錠
3. 採用変更 : ベリチーム配合顆粒
4. 添付文書改訂 : ワイスターール配合静注
5. 添付資料

## 1. 新規採用

## 抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗ヒトPD-L1モノクローナル抗体

## 新規採用薬品

バベンチオ点滴静注 200mg(ファイザー)	196,289 円/瓶
------------------------	-------------

【診療科名】 泌尿器科

【申請医師名】 柳澤良三

【申請理由】

根治切除不能または転移を有する膀胱癌で一次化学療法後の維持療法として、日本、NCCN、ESMOの各ガイドラインで高い推奨度となっている。国際第Ⅲ相臨床試験(JAVELIN Bladder 100 試験)で一次化学療法後の維持療法としてBSC群と比較にて統計上有意にOS改善を認められている。

【組成】 アベルマブ

【警告】

間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例も報告されているので、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽等)の確認及び胸部 X 線検査の実施等、観察を十分に行うこと。また、異常が認められた場合には本剤の投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

【効能効果】

- 根治切除不能なメルケル細胞癌
- 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
- 根治切除不能な尿路上皮癌における化学療法後の維持療法

【用法用量】

- ①根治切除不能なメルケル細胞癌、根治切除不能な尿路上皮癌における化学療法後の維持療法  
通常、成人にはアベルマブ(遺伝子組換え)として、1回 10mg/kg(体重)を2週間間隔で1時間以上かけて点滴静注する。
- ②根治切除不能又は転移性の腎細胞癌  
アキシチニブとの併用において、通常、成人にはアベルマブ(遺伝子組換え)として、1回 10mg/kg(体重)を2週間間隔で1時間以上かけて点滴静注する。

## 【院外限定】 高カリウム血症改善剤

## 新規採用薬品

ロケルマ懸濁用散分包 5g(アストラゼネカ)	1,095.2 円/包
------------------------	-------------

【診療科名】 腎臓内科

【申請医師名】 菊池史

【申請理由】

均一な微細効構造を有する非ポリマーの無機結晶であり、カリウムイオンを選択的に補足して水素イオン及びナトリウムイオンと交換する。また、カリウムを捕捉して糞中に排泄させ、消化管内腔における遊離カリウム濃度を低下させ、高カリウム血症の改善をもたらす。

非ポリマー製剤のため、便秘等の消化器症状副作用が少ない。

非透析患者は服用開始3日以降1包を1日1回、透析患者では非透析日に1日1回1包食事に関係なく服用できるためアドヒアランス向上につながると思われる。

【組成】 ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物

【効能効果】 高カリウム血症

【用法用量】

開始用量として1回10gを水で懸濁して1日3回、2日間経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて、最長3日間まで経口投与できる。以後は、1回5gを水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は1日1回15gまでとする。

血液透析施行中の場合には、通常、1回5gを水で懸濁して非透析日に1日1回経口投与する。なお、最大透析間隔後の透析前の血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は1日1回15gまでとする。

## 消化酵素製剤

### 新規採用薬品

エクセラゼ配合錠(Meiji Seika ファルマ)	5.7 円/錠
----------------------------	---------

【診療科名】 消化器外科

【申請医師名】 伊藤英人

【申請理由】

膵臓癌のOPE後に消化酵素薬として非常に有用である。エクセラゼに変わる錠剤がない。

【組成】サナクターゼM 50mg / メイセラゼ 50mg / プロクターゼ 100mg / オリパーゼ 2S 20mg / 膵臓性  
消化酵素 TA 100mg

【禁忌】 ウシ又はブタたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能効果】 消化異常症状の改善

【用法用量】 1回1錠を1日3回食後直ちに経口投与

## 2. 供給状況

### 1) 出荷調整

- ・バルプロ酸ナトリウム徐放錠 A200 mg「トーフ」  
→2021年9月下旬より他社製品の影響。(院内通達済)
- ・ランソプラゾール OD 錠 15 mg「トーフ」  
→他社製品出荷調整の影響により供給不安定。院外処方のみ制限中。(院内通達済)
- ・アブラキサン点滴静注用 100mg (大鵬薬品)  
→生産工場(海外)において、製造工程に関する定期的な検証における再評価が必要になったため、供給一時停止。供給制限 2022年1月下旬までに変更。安定供給再開の目途は未定。
- ・クエチアピン錠 25 mg「アメル」(10.1 円/錠)  
→共和薬品の出荷調整に伴い供給制限。一時的にセロクエル錠 25 mg(28.7 円/錠)に変更。
- ・リスパリドン錠 1 mg「アメル」(10.1 円/錠)  
→共和薬品の出荷調整に伴い供給制限。一時的にリスパダール錠 1 mg(21.5 円/錠)に変更。

## 3. 採用変更

- ・エクセラゼ配合錠採用にあたり、ベリチーム配合顆粒を本採用薬から削除します。

## 4. 添付文書改訂

\*ワイスタール配合静注用 1g 副作用追加

「急性冠症候群があらわれることがある」

## 5. 添付資料

- ・院内採用薬の供給停止・出荷調整薬について(2021年11月30日更新)
- ・医薬品医療機器等安全性情報 No.387
- ・医療安全情報 No.180 メイロン静注 250ml 製剤の誤った処方